

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年7月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600123
法人名	NPO法人ケアサポートはんず
事業所名	グループホーム 桃の家
所在地	鹿児島県阿久根市山下4452番1 (電話) 0996-72-3751
自己評価作成日	平成26年6月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①大自然に囲まれた心地よい空間の中に位置し、四季の変化がご利用者の心身を癒し、自立支援に役立っている。
- ②運営理念「尊厳・思いやり・笑顔」をスタッフみんなで共有し、ご利用者に安心して暮らせる環境を提供している。
- ③心身共に健やかに生きるために、栄養士を中心に、1日3回の食事時間が「楽しく、美味しく、安全」であるように、バランスのとれた献立で、ご利用者の生きる喜びになっている。
- ④黙示的接近法「待つ・見守る・思いやり」で、ご利用者の能力を活かした自立支援に繋げている。
- ⑤地域のいきいきサロンに参加し、豊かな自然に地域住民と一緒に感謝し、ふれあう時間をつくっている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯4丁目2番6号
訪問調査日	平成26年6月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・自然に恵まれた山間地域に立地している。広い敷地内には、同法人の住宅型有料老人ホームや通所介護・居宅介護支援事業所・訪問介護などの介護事業所があり、相互の協力体制が構築されている。
- ・町内会に加入し地域行事や小学校などの行事に積極的に参加する一方、事業所の行事にも多くの地域住民や家族関係者が参加して、地域との良好な関係が築かれている。また認知症予防についての情報も提供している。
- ・災害対策として定期的に避難訓練を実施し、安全対策の整備もなされ、地域住民の協力も得られている。
- ・個々の利用者の生活歴や生活環境などを把握し、その人らしい生活ができるように支援している。
- ・管理者は職員が働きやすい環境づくりに配慮し、職員はチームワークが良く、ケア対応等の更なる向上を目指している。

北館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	運営理念、介護理念を掲げ、それに基づき日々の接し方に努力しミーティングでも毎朝全員で唱和を実践している。	地域密着をめざし、尊厳と思いやり、笑顔の運営理念や利用者の能力を活かした暮らしを支えたり、ありのままの姿を受け入れる介護理念を基本に、パンフレット類に掲示し、玄関やホールに掲げ、毎朝申し送り時に唱和し支援に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事への参加、ヘアサロンの活用、いきいきサロンへ参加、又は、自施設の行事参加への呼びかけ等を積極的に行っている。	自治会に加入し、地域行事などの情報を活かし、地域の運動会やいきいきサロン・毘沙門祭などの行事に参加し地域と交流している。竹の子まつりなどでは、職員も準備の手伝いをしていく。事業所の行事にも多くの地域住民や家族の参加があり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	自施設の研修時、地域の方の協力を頂きその間の見守りをお願いしている。 自施設周辺の下水清掃、草刈り等も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催し、地域の方の疑問点、利用者家族の不安、思い等の解決に向け討議され、その結果、スタッフへの報告もあり、サービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的に行っている。事業所の状況や取り組みの報告・外部評価の結果報告などを行い、意見や提案をもらい、必要な課題等については職員で話し合い、業務に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者とは日頃から連携し、協力関係を築いている。</p>	<p>市担当者とは日頃から連携を密に取っており、認定更新の機会に情報を交換しアドバイスを貰っている。また運営推進会議を通して協力関係もできている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外出傾向のある利用者に対しては施設内の自由な散歩をして頂く。昼間も自由に居室への出入可能で一人の時間も楽しんで頂いている。安全の為、施錠は夜間のみ行っている。</p>	<p>「身体拘束はしない」を目標に、身体的・精神的に拘束をしないように、マニュアルを基本に勉強会を実施し、職員の共通認識を図っている。日中は玄関の施錠はせずに、職員間の連携で外出希望の利用者には、散歩をかねて事業所の周りを付き添い、安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修を通し、スタッフ間での知識の共有を徹底、いつも笑顔で利用者の尊厳を守る様勤めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>毎朝の申し送りで利用者の状況を話し合いケアに活用できるようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>文章にして、利用者、家族に説明すると共に、理解、納得の上において交付する様に心がけている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議、ホーム内意見箱などで外部者へ表せる機会を設けている。 又、面会時に家族の意見を聞く機会を作っている。</p>	<p>利用者からは日々の生活の中で意見等を聞き、家族からは行事参加時や面会・家族会の時に意見を聞いている。出された意見や要望等は職員で話し合い運営に反映させている。意見箱も設置している。定期的なおたより便で日常の活動報告をしている。家族の意見や要望は全職員が把握できるように記録している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝のミーティング、意見や提案を聞き、どの様にしたら良いか、話し合いの機会を設けている。</p> <p>意見、提案等は常時、管理者も個々に聞き入れる体制を取っている。</p>	<p>代表者や管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、ミーティングや会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。また相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々との観察をし、良い職場環境条件、勤務体制も職員の希望も出来るだけ考慮されている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、必要と考える研修や外部研修の伝達学習を内部研修として行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修に参加したり、他のグループホームへの視察も行い、サービスに活かせる様職員で話し合うようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生活歴や得意分野をアセスメントシートを活用し、スタッフ間で共有、会話を通し本人の思い要望をくみ取れる様、努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時、家族の思いや、これまでの生活に近い状態で、心地良く暮らして行ける様努めている。要望等を聞きより良い関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の時点で何を必要としているのかを家族や本人から聞き必要に応じて他のサービス利用を含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お互い同等の立場である事を認識し、本人の意思表示に注意を払い、尊厳の気持ちを忘れず、安心して暮らせる様な関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の時を利用して、ホームでの状況を伝え、又、家族からの気づきなども取り入れ、家族に安心して頂く様勤めている。遠方の家族の方への電話連絡も密に行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者との話の中に馴染みの人や場所等を入れたり、ドライブなどを取り入れ馴染みの場所に行ったりして関係が切れない様に努めている。	本人や家族からの情報をもとに、これまでの人間関係を把握し、関係が途切れないように取り組んでいる。ドライブで馴染みの場所に出かけたり、馴染みの理・美容院の利用や買い物・墓参などに、家族の協力も得て支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士を観察し、座席の配置を変えたり、ユニット移動をしたりして、トラブルを事前に防ぎ、良い関わり合いが出来る様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談が有れば、相談にのり、おくやみや、お見舞いが有れば、行くなどして契約終了後も関係を密にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族から入所時、希望、意向を聞き、本人からも会話の中で聞く様に努めている。本人の視点に立ち全職員が意見交換し、周知する様努めている。	日々の関わりの中で、表情や言葉などから意向の把握に努めている。職員も気づきを記録し、職員間の情報交換を密にしている。利用者からの希望や要望があるときは、傾聴して把握に努めている。意思疎通が困難な場合は家族の面会時や電話などで情報収集し本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、数種類のアセスメントシートを利用し活用している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者、個々の日々の過ごし方、心身状態等の把握に努め、その人に合った接し方、支援方法を職員同士が確かめ合いながら現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日のミーティングや、家族会などの時の意見やアイデア、往診時の主治医の意見を踏まえて、介護計画を作成している。	本人や家族の意見や要望を確認し、主治医の意見も取り入れ担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。職員で記録して情報を共有し3ヶ月毎にモニタリングを実施し、状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアの実践、結果、気づきや工夫を個人記録に記入し、情報を共有しながら、次のステップへの実践や介護計画への見直しへと繋げていく様に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関と連携し、月1回の往診を行っておりホームでの継続した生活が送れる様、又通院、美容、一時帰宅、外出、墓参りなどの支援や、サービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握し、催し物や資源を利用し楽しんだ生活を送ることが出来ている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院の往診を1ヶ月に1回行っている。 家族の希望もあり、入所前からのかかりつけ医へ受診される方もいる。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。緊急時の対応など、かかりつけ医と連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。協力医療機関からの毎月の訪問診療もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日々のケアの中で感じた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のミーティングで状態を看護師に伝えている。隣接している訪問看護ステーションからの協力も頂き適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した場合、できるだけ早期に退院できるように、退院後のケアの方法について病院と家族との情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取り介護について、入居時に説明を行っている。 家族、医師、看護師、職員全体で話し合いが行われ指針の説明、同意書をもらっている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。関係者と連携を図りながら終末期の支援に取り組んでいる。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、医師や看護師を含む関係者が連携して支援している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時に備えて対応マニュアルを作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練、避難誘導、通報訓練、消火訓練を行い消防署、職員地域の人に伝わる訓練をしている。</p>	<p>年2回消防署の立会いのものとマニュアルを基に、昼夜間を想定し避難訓練を実施している。ソーラー設備や自家発電が整備され、井戸水や自動通報装置も設置され、地域住民や当事業所と関連の協力体制もできている。災害時の食糧等の備蓄もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員の雇用契約時、個人情報の守秘義務を守ることを約束している。 入浴、トイレ介助の際、声掛けなどプライバシーに関する事は徹底している。	利用者の尊厳と権利を大切に、職員の勉強会や研修で、全職員取り組んでいる。言葉かけには気を付けて、トイレ誘導は周りに気づかれないようにさりげなく行っている。個人記録等の取扱いにも管理を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	観察の中で必要な声掛けをし、意思表示できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、食事、就寝、起床時間などその人に合わせている。会話からその方の希望を聞きだす努力をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分の好みの服を着たり、選んで着て頂いている。 髪のカットを2ヶ月毎に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの状態や能力に応じた支援を行い、好き嫌いのある利用者には別メニューで対応している。 誤嚥の危険性のある利用者へのミキサー食等も行っている。	栄養士の献立で、嗜好に配慮し個々に応じ食事形態を工夫している。誕生会や行事食・弁当持参で外出するなど工夫している。季節物のつわやグリーンピースなどは、皮むきを職員と利用者が一緒に話しながら準備したり、力量に応じて後片づけを職員と行ったりしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が栄養のバランスやカロリー計算をし、献立が立てられている。 食事量、水分量も記録し、一人ひとりの状態や力に応じた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアを確実にするようにしている。 本人の力に応じて声掛けや介助をしている。 1日おきに義歯の洗浄剤の使用も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを活かし、声掛け誘導を行い、手を出しすぎない介助を行っている。 転倒のリスクの多い利用者にはPトイレの設置も行っている。	排せつパターンを把握し、声かけや誘導をしている。食生活の工夫や医療連携で排泄の自立を支援している。改善された事例がある。表情やしぐさで判断して、声かけし自立に向けたトイレ誘導を積極的に支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多くとって頂いたり、出来る範囲で体を動かしてもらい便秘の予防に努めている。 主治医との連携を取り、指示も頂いている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ユニットごとに2日に1回の入浴日になっているが、希望に応じて柔軟な対応もとっている。 入浴時間、順番など、個々に応じた支援をしている。	入浴は基本的に週3回であるが、一人ひとりの体調や希望に添った入浴ができるように支援し、自宅での入浴習慣を聞いたり、冗談を言ったりゆっくりくつろげる時間となっている。入浴をいやがる利用者には、職員間で連携し、無理はせず声かけなど工夫して時間や日を変えて対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣、その時の状況に応じ、午睡の時間を設けたり、日中の活動を促し、夜間安心して気持ちよく眠れるよう声掛けをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報や薬辞典などにより薬の目的や副作用、用法や容量を理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の能力を活かし洗濯たたみや、グランドゴルフ歌をうたったり、楽しみをみつけて気分転換を計っている。 居室へのTV設置も希望により行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	中庭に添ったテラスで自由に散歩に出ている利用者の意見を聞きつつ、そうめん流しや日帰り旅行、地域の運動会や文化祭などに出かけられる様に支援している。	日常的には事業所の周辺や中庭での散歩を行っている。年間計画を立てて、そうめん流しや日帰り旅行・地域の行事に出かけている。家族と自宅に帰って墓参りや近所の知人・親戚などの所に寄って楽しんでいる。家族が行けない時は、職員が希望を聞いて、ドライブを楽しむ機会を作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人一人の要望や能力に応じてお小遣い程度の金銭を所持されている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望により電話をかけたたり家族からの電話をつなぐことが出来る。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間では、不快な気持ちにならない様に皆で楽しめる空間になる様に工夫している。温度、湿度計をチェックして快適に過ごして頂き季節の花や、飾りや置き物を置いている。</p>	<p>共用の空間は採光や換気に配慮され、温度や湿度計があり、空調管理がなされている。畳のコーナーに仏壇が置いてある。行事の写真などが壁に貼られて、季節感のある飾りつけがされている。掃除が行き届き清潔である。ソファも多くあり、好きな場所で過ごせる。ウッドデッキから中庭に自由に入りができて、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自由にソファへ座りTVをみたり、談笑されたり、畳で横になれる方もおられ思い思いに過ごしておられる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には本人の使い慣れた家具を置いたり、家族写真を飾っておられる方もいる。</p>	<p>居室の入り口には、名札と花こぼを添えた花の写真があり、本人と家族で相談し、家具や時計・家族の写真など、本人が使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、個性的で安心して過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内部はスロープ、手すりがあり安全に移動する事が出来る。 居室入口には名札があり確認して部屋へ入る方もおられる。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない